

■日時

平成30年2月28日（水）午後7:00～午後8:20

■会場

ガレリアかめおか 響ホール

■議事

- 1 開会
- 2 「通学区域の見直し」（最終案）について
- 3 住民説明会等の報告
- 4 今後の取組について
- 5 閉会

■意見交換発言内容

座長 (教育総務課長)	事務局から「通学区域の見直し」（最終案）について」を説明させていただいた。また、「住民説明会等の報告」では、これまでに各地域からいただいた要望書等の内容をひとつひとつ説明させていただいた。皆様から御意見や御質問を承りたい。
委員	森・洗川区、ひばりヶ丘区の通学路の具体的な整備スケジュールはあるのか。それを示さなければ理解が得られないのではないか。
事務局	国道の柵については、国道事務所に現場も確認いただき、平成32年4月までの実施をお願いしており、前向きな回答をいただいている。今後も継続してお願いしていく。市道のガードパイプについても土木管理課と密な連携を図り、平成32年4月までにできる限りやっていきたい。実施が決まれば区長やPTAの役員と一緒に歩く中で、確認してやっていきたい。
委員	明確に答えなければ不信感が募る。賛同がいただけない中で、今後の取組をどのように考えているのか。
教育長	通学路のことについては、あらかじめ通学路図面を提案すると、もう既に決めているのかということになってしまうことから、当初は通学路図面を提案をしていなかった。今回、一定の方向性が見出せる中で、小学校の先生方と協議して、前回の説明会で通学路図面を提示させていただいた。それでも通行量が多いなど一定の不安が残っている。さらに丁寧な説明が必要であり、時期や具体的にどういう工事をするのかを協議していく必要がある。

事務局	<p>前回のブロック協議会では、1月に住民報告会という形で、見直しの対象地域へ説明に参りたいと申し上げた。その結果を踏まえて2月にブロック協議会を開催し、状況の報告と併せて実施に向けた方向性を確認させていただき、地域別推進協議会を経て、3月の教育委員会で最終的な実施の判断ができればと申し上げていた。今後、3月に再度地域に入って、1月の説明会でいただいた質問に、丁寧に考え方を説明していきたい。その説明会は、ご理解が得られるように細かく地域を分けて実施していきたい。その後、ブロック協議会で状況を報告させていただいて、最終的には教育委員会の判断につなげていきたい。</p>
座長	<p>ただ今の説明は、次第の4「今後の取組について」に繋がっております。</p>
委員	<p>地域に入っの説明会では、さきほどの説明のように「この通学路を通して、安全に誘導していく」ということも含めて説明をしていくのか。</p>
事務局	<p>そのような形で説明させていただきたい。具体的な安全対策の取組については、地域の方と一緒に歩いて、どのような対策が必要かなど、具体策を一緒になって考えていきたい。</p>
委員	<p>中矢田町などの亀岡地区東部地域にはいつ説明に入るのか。</p>
事務局	<p>今後、地域での説明をさせていただけるように進めていきたい。 地域に入らせていただく場合には、これまで十分に自治会と調整のもとに行うようにとの意見もあり、亀岡中学校ブロックの地域とも関わりが考えられることから、今後自治会と調整させていただく。現在の案で住民説明会を実施させていただけないか調整していきたい。</p>
委員	<p>見通しは。</p>
事務局	<p>現状では、自治会へ説明させていただいて、東輝・詳徳中学校ブロックの実施計画案の中では調整中とさせていただいている。住民説明会は、自治会との話が調整できれば実施が可能だと思っているが、それが整理できるまで実施できないので、もう少し時間が必要である。東輝・詳徳中学校ブロックの計画であるので、実施まで1年半程度の準備期間が取れる範囲の中での整理ができるように進めて参りたい。</p>
委員	<p>前回のブロック協議会以降の1月に住民説明会を実施されて、十分に理解が得られたと考えてよいか。</p>
事務局	<p>最終案として説明させていただいたが、篠町の篠区(国道9号以南)、フェスタ区、東・西夕日ヶ丘区等の地域を除いて、理解が得られた状況にはない。</p>

委員	<p>安詳小学校校区の7つの区で理解が得られておらず、いろんな動きがあると聞いている。もし、そういうことが起これば、それで大変だと思う。十分に説明していただいたと認識しているが、その地域で話が進まなければ、他も進まない。教育委員会に任せて良いのか。</p>
事務局	<p>地域からいただいている意見書や要望書への回答も含めて、教育委員会としての具体的な考え方を明確に示せるように、再度説明させていただくことで理解が得られるように努めていきたい。</p>
委員	<p>早くしないと受け入れる学校も大変だと思う。前回のブロック協議会では、平成32年4月から実施することでまとめを行い、教育長から決意表明をしていただいた。議会の中でもそういう方向を示していただいていたので、私は前に進んでいると思っていた。その中でほとんどの区で進んでいなければ、この話はなかったことになる。もっと積極的にやっていかないといけない。ここでせっかくまとめたのにも関わらず前に進んでいないという実感がする。それでは学校も不安になるし、PTAも役員を決める際に大変になる。もう少し責任を持ってやるのであればどんどん進めていかなければならない。何が不安なのか、要望されていることをひとつでも早く解決できていたらもっと前に進んだのではないか。なぜそれができないのか。せっかく前回のブロック協議会で話がうまく進んでいるのに、ここで止まっているという感じがする。</p>
事務局	<p>説明会では、これまでから丁寧に説明させていただいたと思っており、何回も地域との話し合いの中で積み重ねてきたものもある。11月末のブロック協議会では、実施時期も定めて、これまでからいただいている要望事項に対して教育委員会の考え方を説明して、ご理解いただけるように地域に対して説明をしていくように、という意見をいただいた中で実施した1月の説明会であった。しかし残念ながら、これまで積み重ねてきた意見交換で教育委員会の思いと地域の思いで、まだ少し離れていたものがあったので、1月末の段階では多くの地域で賛同できないという状況となっている。その部分について3月の説明会では改めてお願いしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>例えば、「具体的な教育ビジョンが示されていないため、学校を移ることのメリットが感じられない」、「英語教育のレベルはどこを目指すのか」に対しては教育委員会がしっかりと答えれば解決できるのではないかと。そんなことが説明できていないのであれば、他のことも不安になる。通学路の問題は、相手のこともあるので、解決できないこともあるかもしれないが、安全対策優先で進めていかなければならないし、そこは財政課や道路管理者との考えを示していかないと解決できないと思う。教育長にお尋ねするが、この教育ビジョンが示されないとはどういうことなのか。</p>

<p>教育長</p>	<p>これは、説明会でいただいた質問を列挙している。いただいた質問に対しては、その都度回答している。教育ビジョンは、亀岡市全体のものや、校長先生が学校ごとに教育目標を設定されることから、この回答は非常に難しい。メリットについても、例えば安詳小学校と詳徳小学校を比較した場合にどちらがいかには回答しにくい。通学距離が近くなるとか、小学校の1学級あたりの児童数については、安詳小学校は過密化しているのので詳徳小学校のほうが、メリットがあるというくらいしか回答できていない。いろいろな取組の違いでそれぞれにメリットもあればデメリットもある。大規模校ではダイナミックな活動ができるが、小さい学校ではできないということも丁寧に説明させていただいている。移っていただくからといって、必ずプラスになる部分だけではないということも含めて説明している。その中でメリットが感じられないというご指摘をいただいているのが実情である。他の地域でも同様に、質問には答えている。例えば、通学路は、説明会で案を示しているが、現状では危険箇所があることから、説明会の後に予算面など市長と協議をして、ここは早速工事をしないといけないなという話をさせていただいている。その上で、次回の説明会では改めて、中矢田篠線など保護者と一緒に歩いて点検をやりましょうという提案をしていきたい。また、学校間交流のことやきょうだいで別れたら運動会の日が重なると行けないので、ずらして欲しいという要望もあったので、小学校の校長先生に調整していただいた。日程をずらしてやっていくのご配慮いただいて、学校間交流も具体化してきたので、考えていただいている。そのことも説明会で説明できるのではないかと考えている。これまでは、こんなことをするという概要としては説明してきたが、具体的にどうするのかということについて、十分に答えられていなかった。今準備していただいているので、次の説明会では少し説明できるのではないかと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>3月の説明会では、ここに挙がっていることの答えを地域に返すとの理解でよいか。できるだけ丁寧に説明して理解が進むようお願いしたい。メリット、デメリットも分けてしっかり説明してもらえたらより進んでいくのではないかと考えている。国道については難しい部分もあるかもしれないが、安全対策についてはできるという自信を持って通していかないといけない。安詳小の事故もあるので、そういうことの無いようにしていただきたい。意見を聞いて説明しようとするのであれば、教育長も出席していただかないとうまくいかない場合もある。教育委員会が本気で取組んでいるという姿勢として、教育長も説明会に出席すべきだと思うがどうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>今回の説明会では、体調を崩してしまい、2回程出席できなかった。この間、基本的には、必ず教育長含めて説明会に出席して説明させていただいているし、3月の説明会でも今日のスタッフで対応させていただきたいと考えている。</p>

委員	地域の混乱で困るのは自治会であるので、その点を十分に踏まえて説明をよろしくお願いしたい。
委員	私は、子どもたちにとってどうなのかということが大事であると思っている。特に学校間交流を前向きにいろいろな形でしっかりやってほしい。新年度から具体化しても良いのではないか。
委員	4月に入ってもPTAとの協議の場を持ってほしい。
教育長	実施が決定する、しないに関わらず、この間、PTAの役員と今後の対応について、協議していただいた。小中学校の校長先生も含めてであるが、学校の現場は学校現場で、PTAはPTAで協議してこれからも進めていただきたいと考えている。課題になっているのは、小学校1年生から4年生には移っていただいて、地域から要望があって拡大した5年生と6年生には選択できると提案しているが、在校生は卒業させてほしいという親の不安感があり、抵抗感が強い。いじめや不登校の問題が背景にあることから、親の不安感につながっており、ここをどう克服していくかが、残された中では大きな課題となっている。安心感を出していこうとするには、実際には学校間交流をしていく中で、新しい友達もできたし、行っても大丈夫だな、新しい学校でも楽しく学べるなどという実感を持ってもらうことが大事だと思っており、これについては、決まる、決まらないに関わらず、一定の学校間交流をしていくことで、保護者の安心感が高まるのではないかと想像している。保護者からは、1年生から順に移ればいいのではないかという意見も出ている。そうすると、送迎も含めて1年生から通学させられる保護者はいいけれども、必ずしもそういう保護者だけではないため、安全面も考えると中学校のように1年生から学年進行で移っていくことは難しいので、そこをどう理解いただけるようにしていくか、安心感を高めていけるようなことをしていかなければならないと考えている。通学路については、一定の対策等していきながら、また地域の皆様のご支援ご協力をいただきながら、安全確保は一定進められると思っている。
座長	いただいたご意見として、具体的な事項をしっかりと示して、その中にはメリット・デメリットを示して、教育長以下、教育委員会が丁寧に説明し、質問に答えていけるような説明会をさせていただきたいと考えている。予定では3月9日から28日にかけて、前回1月から2月にかけて説明に入らせていただいた地域に対して、改めて前回いただいたご質問やご意見にもしっかりとお答えできるような形で説明に入らせていただき、お答えする中でご理解をいただけるように努めたいと考えている。今後の取組等については以上のとおりです。ここまでのご意見ご質問はありますか。
委員	安詳小の事故以来、時間は経ってきている。安全対策の中で先生方の送迎が、

	<p>大きな負担になっていることも事実である。ただ、タイミングが悪く、通学区域の見直しがあるなかで、学校としても働き方改革を推進していきたいと思っておられるし、それを強引にやると通学区域の見直しにさらに拍車がかかって、進めにくくなるのではないかと心配している。先生方の対応の問題もあるし、教育委員会が学校と十分に連携をとって、対応の方向も含めて示してほしい。教育委員会が、保護者と学校と連携を取ってひとつの方向性を出していかないと、教育委員会への不信感につながるし、学校の立場も理解したうえでうまく整理してほしい。</p>
<p>教育長</p>	<p>安詳小に関わらず、交通安全対策をどうしていくのかをそれぞれ全ての学校でも考えていく必要がある。その中で、先生方にどこまでの負担をお願いしていくのか。例えば、どの小学校でも4月の入学式のあとしばらくの間は、登下校に付いていただいているので、それは共通でできるのではないかと。毎日の付添を一週間で数回とか、軽減していき、どこかで他の学校と揃えていかないといけない時期がくると思うが、負担を少し軽くしながら、安全確保してもらう取組をするとか、学校と連携しながら、進めていきたい。いきなりゼロには考えてはいない。併せて、地域の力を借りる取組もする中で進めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>子どものために先生が最前線に立っている。学校は不安感がないことが一番で、通学区域の見直しで、保護者や子どもだけが激変するのではなく、教職員の人数も変わるし、施設も変えていかなければならないなどの変化がある。できることができなくなったり、できないことができるようになったりすることで学校のビジョンも変わってくる。学校の現場の先生の想いを聞いて、連携をとっていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>それぞれの学校長も、意見はそれぞれあると思うが、実質、亀岡中、東輝中、詳徳中が対象で、この限られた期間で不安感を取り除けなかった中で、入学説明会を迎えなければならない。一つ目の入学説明会は来年11月にある。早ければ10月の後半に、これまで3中学校バラバラでやっていて大変だったのをできるだけすり合わせて1回でやろうと思っている。1中2小になるとかなりやりやすくなり、本来の連携ができる。実際、前回の会議でスタートは切られたわけで、ゴールもはっきりしている。3月から説明会をされるが、数をこなすだけでも教育委員会は大変だと思う。どこかで線を引いて、小学校と中学校がそういう思いの中でご理解いただきたいと結論を出す時期かなど。東輝中も詳徳中も同じで、1中2小は最大のメリットである。ここはひとつのチャンスだと思うので、できることは協力していきたい。</p>
<p>座長</p>	<p>本日貴重なご意見をたくさんいただいた。それを踏まえて、改めて地域に入って具体的な事項も含めて、しっかりと説明しご理解いただけるように努めていきたい。本日はありがとうございました。 (会議終了)</p>